

代表質問

3月定例会では2月26日から3月3日までの間、17人の議員が質問を行いました。そのうち、3人以上の各会派から代表質問として4人の議員が質問を行いました。（質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。）

平塚クラブ

片倉 章博 議員

議案第25号 平成22年度平塚市 一般会計予算

問 本市の中小企業に対する支援について問う。

市長 中小企業の活性化に向けて、機械装置の導入に対する助成や本市の中小企業金融制度を利用した中小企業者の支援を拡充するほか、工事契約等の前払金基準額の引き下げ等を行う。また、21年度3月補正予算で、早期発注により工事の端境期の仕事量を確保できる「ゼロ市債事業」を行い、さらに、第2回3月補正予算では緊急経済対策の趣旨に沿ったインフラ整備事業を実施することで、主に中小企業の景気対策を図っていく。

問 小・中学校体育館の耐震補強工事と整備改築事業について、花水小学校と太洋中学校の完了までのスケジュールを伺いたい。

市長 太洋中学校は21年度からの2か年継続事業で、完了は平成23年2月を予定している。花水小学校は22年度に着手し、完了は平成25年2月の予定である。

問 神奈川県企業庁平塚配

水池上部にパークゴルフ場を整備し、平成22年10月にオープンすることだが、周辺の環境整備ならびに完成後の速やかな指定管理者制度の導入について見解を聞きたい。

市長 パークゴルフ場等への指定管理者の導入については、開設が年度途中であることや、パークゴルフ場の運営管理と芝の維持管理のほか、野球場や多目的広場を含めた一体的管理を行うことによる課題の整理や解決を図るために、当面は業務委託を含め市直営での管理を考えている。その後、必要に応じて指定管理者の検討を行う。

問 本市の現在の待機児童数と、新設や改築等を行う民間保育所の規模やその完了時期、また、併せて待機児童解消に向けた考えを伺いたい。

市長 待機児童は平成22年2月現在で257人となり、前年より46人増加している。平成22年4月には145人の定員増を図り、さらに22年度中の民間保育所施設整備事業として、旭地区に定員120人の保育所を1園新設するほか、既設保育所3園の増改築で80人の定員増を図り、合計で200人

の定員増を見込んでいる。それぞれ、平成23年3月までは工事を完了し、同年4月1日に開園する予定である。待機児童の解消は喫緊の課題とらえており、23年度にはほぼ解消されるものと考えているが、今後の社会経済情勢により待機児童数が変動することも考えられることから、常に動向に注視し解消に努めている。

問 玉川橋、東雲橋整備の関連事業として位置づけて実施している市道浅間町・南原線の歩道等改良事業や、南原自治会など地元の要望と現在までの進捗よく状況について伺いたい。

市長 この事業は玉川橋、東雲橋架け替えの関連事業として位置づけ、平成16年から用地買収を進め、現在事業予定地の約70%の買収を完了しており、21年度から工事に着手したところである。先日、南原地区町内会連合会会長ほか各自治会長から、南原駐在所の存続について陳情書が提出された。それを受け、事業地内の駐在所について南原地区内への移転に向け、現在平塚警察署と協議を行っているところである。

問 平塚競技場に設置する大型映像装置について伺いたい。

市長 設置時期だが、平成

22年11月28日に行われる湘南ベルマーレのホーム最終戦までには間に合わせたいと考えている。画面の大きさは、おおむね800センチを予定している。

問 平塚駅周辺駐輪対策について、西口東地の自転車等駐車を暫定利用し整備を行うとのことだが、今回の計画におけるスケジュールと放置自転車の抜本的な解消につながるのかについて、また、民間の自転車等駐車場への助成制度について伺う。

市長 平成22年1月に策定した「平塚駅周辺の駐輪対策について」のスケジュールでは、まず駅西口東地の自転車等駐車場を22年度中に、その他の自転車等駐車場を23年度中に整備し、自転車の収容場所を確保するとともに、自転車に乗るときのマナーの向上を図ったうえで、放置自転車の撤去を徹底することを基本に放置自転車等の解消に努めていきたい。また、民間の自転車等駐車場の整備を促進したい。

問 平塚競技場に設置する大型映像装置について伺いたい。

市長 設置時期だが、平成

湘南民主クラブ

山原 栄一 議員

平成22年度 施政方針について

問 来春に選挙を迎える市長にとって、2期目最後の予算編成となる22年度をどのような年にしたいと考えているのか。

市長 指摘のとおり、22年度は市長2期目の最終年度であり、新たな総合計画・実施計画がスタートする年度でもあるため、市政運営の観点からも非常に重要な年であると考えている。そのため「今、しなければならぬこと」を念頭におき、事業の実施時期や規模を精査し、持続可能な行財政運営に努めつつ、市民の安心・安全と将来の平塚市を支える子供たちに配慮した施策展開を目指していく。

地域自治について

問 市長は、「自治力や地域力を高めた地域社会・平塚市」をつくりたいの思いを語っている。そこで、「地域自治」に対する市長

分の1を助成したいと考えている。また運営費の助成戦までには間に合わせたいと考えている。画面の大きさは、おおむね800センチを予定している。

問 平塚駅周辺駐輪対策について、西口東地の自転車等駐車を暫定利用し整備を行うとのことだが、今回の計画におけるスケジュールと放置自転車の抜本的な解消につながるのかについて、また、民間の自転車等駐車場への助成制度について伺う。

市長 平成22年1月に策定した「平塚駅周辺の駐輪対策について」のスケジュールでは、まず駅西口東地の自転車等駐車場を22年度中に、その他の自転車等駐車場を23年度中に整備し、自転車の収容場所を確保するとともに、自転車に乗るときのマナーの向上を図ったうえで、放置自転車の撤去を徹底することを基本に放置自転車等の解消に努めていきたい。また、民間の自転車等駐車場の整備を促進したい。

問 平塚競技場に設置する大型映像装置について伺いたい。

市長 設置時期だが、平成



岡崎地区で開かれた地域活動推進会議

題解決のための拠点機能の役割を發揮できるよう、公民館長、公民館主事を中心となり、地域の各種団体との連携強化に努めている。

平塚市の将来の 活性化に向けて



現在の湘南新道（大野小学校北西付近）

問 さがみ縦貫道路の整備が進む中、将来の産業の活性化に向けた関連道路等の整備の見通しについて伺う。

市長 湘南新道の延伸は、22年度に国道129号から県道大島明石線までの区間で詳細設計を行う予定である。国道134号の拡幅は、平成22年3月末に茅ヶ崎市柳島から高浜台交差点まで開通予定で、それ以西は測量調査等を神奈川県が実施しており、22年度は花水川橋から西湘バイパスまで行う予定である。新湘南バイパスは、国が茅ヶ崎市柳島から高浜台交差点までの区間で調査設計、用地買収を進めている。ツインシティの新橋については、大神地区の都市計画決定に合わせて、県が都市計画決定することである。

子育てするなら 平塚で

問 子育て支援については、

待機児童の解消や保育環境の向上に取り組むと聞くが、22年度の待機児童解消の見通しについて伺う。

市長 4月には145人の定員増を図るが、待機児童の解消には結びつかないため、空きスペースの転用などを民間保育所等と協議し、一人でも多くの児童を受け入れていきたい。22年度中には、保育所の新設、増改築で合計200人の定員増を計画している。

浸水区域の解消

問 浸水重点地区の対策を今後どのように進めるのか。

市長 22年度は、JR東海道線より南側の区域で貯留管方式による整備を進める。また新町地区や豊田地区では雨水管を整備し、岡崎地区や下島地区では浸水対策に向けた実施設計を進める。

安全で、みんなが 快適に暮らせるまち

問 平成21年秋、平塚の玄関口である北口駅前がバリアフリー機能を備えた、新しい広場として生まれ変わった。本来であれば今ごろは、国の交付金を活用した駅西口東地自転車・バイク駐車場が完成し、駅西口跨線橋もバリアフリー化が進み、駅周辺は安全で快適になっているはずであった。しかし、駅周辺には自転車があふれたまま放置され、危険な状態が続いている。私たち湘南民主クラブは、平塚駅に集中する自転車・バイクの駐車場を早急に駅西口東地に整備すべきと一